

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン

2019 年度 活動記録

2020 年 7 月 25 日

1. イベント開催(シンポジウム、講演会、学習会等)：

FFPJ 主催・共催および会員の活動(2019 年 6 月 14 日～2020 年 6 月 13 日)

【フォーラム】2019 年 6 月 14 日 東京都千代田区

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン(FFPJ)が、設立記念フォーラムを開催しました。詳しく読む：<https://www.ffpj.org/blog/20190924>

【講演・団体会員】2019 年 6 月 15 日 佐賀県大牟田市

JCFU 会員の有明海漁民・市民ネットワーク総会において「国連『家族農業・漁業 10 年』と日本の漁業政策」と題して講演(講師：FFPJ 副代表・二平章)。

【研究会・学術】2019 年 6 月 22 日 大阪市北区

第 4 回アフリカ食文化研究会において、「食料主権論の意義とその戦略的展開：アフリカの文脈に引き付けて」と題する報告を行いました(報告者：FFPJ 常務理事・池上甲一)

【研究会・団体会員】2019 年 6 月 29 日 東京都渋谷区

日本有機農業研究会が、国連「家族農業の 10 年」スタートと「農民の権利宣言」の採択を契機に、家族農業重視への転換に向けて、現在の農政課題を探ろうと研究会を開催しました(講師：北出俊昭・明治大学農学部元教授)。

【講演・団体会員】2019 年 7 月 6 日 千葉県勝浦市

JCFU 会員の千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合総会において「国連『家族農業・漁業 10 年』と日本の漁業政策」と題して講演(講師：FFPJ 副代表・二平章)。

【講演・学術】2019 年 7 月 28 日 滋賀県近江八幡市

第 49 回滋賀労農大学において、「国連の家族農業の 10 年の意義と期待される取り組み—持続可能な食と農の実現にむけて—」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【政府要請・団体会員】2020 年 8 月 2 日 宮城宣仙台市

東北農団連(農民連東北ブロック)は、東北農政局に対する要請行動に取り組み、東北 6 県から 21 人が参加しました。国連「家族農業の 10 年」について、「国の取り組みを具体的に明示し、専門の担当部局を設置する」よう要望しました。

【講義・団体会員】2019 年 8 月 3 日 愛知県名古屋市

公社全国愛農会と台湾国立屏東科技大學の共催による特別講義において、「持続可能な農と食の実現にむけた取り組み—国連の家族農業の 10 年とアグロエコロジーを中心に—

」と題して講義をしました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【講演】2019年8月6日 東京都新宿区

パルシステム生活協同組合連合会の産直委員会主催の講演会において、「持続可能な食と農の実現にむけて―国連の家族農業の10年に学ぶ―」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【セミナー・団体会員】2019年8月20日 静岡県静岡市

一般社団法人BMW技術協会主催のBMW技術基礎セミナーにおいて、「国連「家族農業の10年」と持続可能な農と食」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【報告】2019年8月22日 山梨県甲府市

第34回全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修会外部ゲストとして「地域のなかの子育て：魚食で健康・頭のよい子を育てるために」と題して報告。そのなかで「家族農業10年」国連決議について紹介(講師：FFPJ 副代表・二平章)。

【学習会・団体会員】2019年8月22日 和歌山県紀の川市

家族農林漁業プラットフォーム和歌山準備委員会主催の学習会「持続可能なくらし 農と食」において、「持続可能なくらし 農と食―国連「家族農林漁業の10年」に学ぶ―」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【報告】2019年8月24日 静岡県静岡市

第65回母親大会分科会助言者として、「国連家族農業・漁業10年決議と日本の漁業政策」と題して報告(報告者：FFPJ 副代表・二平章)。

【報告】2019年8月24日 静岡県静岡市

第65回日本母親大会において、「国連『家族農業の10年』と日本における取り組み―持続可能な食と農の実現にむけて―」と題して報告しました(報告者：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【シンポジウム・団体会員】2019年8月31日 静岡県浜松市

第5回ラブファーマーズカンファレンスのシンポジウム「国連「家族農業の10年」に学ぶ―世界のいまとこれから―」において、パネリストとして報告しました(パネリスト：FFPJ 代表・村上真平、常務理事・関根佳恵)。

【講演】2019年9月4日 茨城県日立市

ひたち市民カレッジにおいて「魚食がつくる脳と身体の健康」と題して講演。そのなかで「家族農業10年」国連決議について紹介(講師：FFPJ 副代表・二平章)。

【院内集会・オブザーバー】2019年9月4日 東京都千代田区参議院議員会館

日本国際ボランティアセンター(JVC)ほか5団体主催の院内集会「『小農権利宣言』『家族農業の10年』を受けて考える日本の開発援助とアフリカ小農～モザンビーク、プ

別添資料

ロサバナの事例から」において「小農・家族農業をめぐる国際的潮流と日本における『拒否反応』」と題する報告を行いました(報告者：FFPJ 常務理事・池上甲一)

【報告・団体会員】2019年9月6日 長崎県対馬市

JCFU 会員の対馬市ひき縄漁業協議会にて「国連家族農業 10 年と日本の漁業政策」と題して報告(報告者：FFPJ 副代表・二平章)。

【講演】2019年9月20日 茨城県ひたちなか市

茨城県内 10 保育園で構成する共同保育給食部会にて「魚食と健康」と題して講演。そのなかで「家族農業 10 年」国連決議について紹介(講師：FFPJ 副代表・二平章)。

【講義・学術】2019年9月26日 香川県高松市

第 26 期香川県中小企業家同友会大学において、第 1 講国連「『家族農業の 10 年』が問
い かけるもの—持続可能な社会への移行をめざして—」と題して講義を実施しました(講
師 : FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【フォーラム・TV 放送】2019年10月7日 東京都千代田区

ふるさとの食 につぼんの食 全国実行委員会主催の食料フォーラム「国連家族農業の 10
年に考える—持続可能な社会を目指して—」において、パネリストとして登壇しました
(登壇者：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。このフォーラムは、2019年11月16日に NHK E テ
レで全国放送されました。

【学習会】2019年10月10日 東京都千代田区

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン主催の学習会「国連の家族農業の 10 年の世界
行動計画—日本の行動計画策定にむけて—」を実施しました(講師：FFPJ 常務理事・関根
佳恵)。

【講義】2019年10月17日 茨城県日立市

日立市南部図書館講座にて「魚食がつくる身体と脳の健康」と題して講義。そのなかで
「家族農業 10 年」国連決議について紹介(講師：FFPJ 副代表・二平章)。

【講演・学術】2019年10月18日 愛知県名古屋市

東海自治体問題研究所の第 47 回総会において、「国連『家族農業の 10 年』に学ぶ世界
の新潮流—持続可能な社会にむけて—」と題して記念講演を実施しました(講師：FFPJ 常
務理事・関根佳恵)。

【地域プラットフォーム結成・講演・団体会員】2019年10月18日 和歌山県和歌山市内

家族農林漁業プラットフォーム和歌山は、和歌山県 JA ビルで「設立記念フォーラム」を
開催しました。8 月 22 日に行った学習会以降、多方面への呼びかけを重ね、農業・林業・
漁業に携わる人たち、消費者、研究者等約 120 人が集まり、「～期待される家族農林漁業
～平和で持続可能な社会を築くために」というテーマで記念講演がありました。(講師：
FFPJ 代表・村上真平)

【学会報告】2019年10月26日 宮城県仙台市

北日本漁業経済学会にて「国連家族農業 10年決議と漁業政策」と題して報告。(報告者：FFPJ 副代表・二平章)。

【シンポジウム】2019年10月26日 香川県高松市

香川県革新懇は、JA 香川県中央会営農センターを借りて「香川の食を考える農林漁業シンポジウム」を開催しました。会場いっぱいの220名が参加しました。今年は「漁業法」の改正に危機感を抱いた漁業関係者もパネリストとして参加しました。

【集会・宣伝・団体会員】2019年10月26日 埼玉県浦和市

埼玉食健連と埼玉県南食健連は、秋のグリーンウエーブの一環として、「国連『家族農業の10年』を考える集い」と浦和駅頭宣伝に取り組みました。「集い」ではFFJP事務局の岡崎衆史氏が講演し、埼玉農民連の松本慎一副会長が「頑張っています！県内の家族農業」の報告を行い、浦和駅前、新米「彩のかがやき」2合100袋を無料お配布しながら署名に取り組みました。

【講演・団体会員】2019年10月27日 高知県高知市

四国農民運動全国連合会の研究交流集会において、「国連「家族農業の10年」に考える持続可能な社会への移行」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【学習会・団体会員】2019年11月9日 茨城県阿見町

茨城農民連女性部「ゆいの会」第30回総会において、「国連・家族農業の10年スタート一人のつながりと絆で営む農業」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・斎藤博嗣)

※本公演は、2019年6月2日第59回茨城県・母親大会 in 常陸大宮、分科会の助言者(問題提起とアドバイス)を務めた続きになります。

【学会シンポジウム報告・学術】2019年11月9日 東京都千代田区

農業問題研究学会2019年秋季大会シンポジウムにおいて、「変質するグローバル化の下で農民主体論をどう構築するか：食料・農業・農村問題の再指定と実証分析に向けて」と題する報告を行いました(報告者：FFPJ 常務理事・池上甲一)

【イベント】2019年11月18～20日 東京都中央区

日経新聞社主催の国際イベント「アグリテック・フードテック2019」において、複数のパネルディスカッション、およびワークショップに参加しました(パネリスト/司会：FFPJ 代表・村上真平、常務理事・斎藤博嗣、常務理事・関根佳恵)。詳しく読む：<https://agsum.jp/ja/>

【要請・団体会員】2020年11月20、21日

北海道農民連は、道農政部、JA 北海道中央会、ホクレンに毎年恒例の年末要請を行い、全道から、40人が参加しました。北海道農民連から「輸入拡大で食料自給率は下がり、農家が減少、地方の人口も減少し地方の生活環境は悪化する。獣医が不足するなど農業を支える人材も確保できない深刻な状況だ」と訴え、家族農業を守り、北海道農業と地域経済

を守る取り組みを共に進めるよう要請しました。要請に向けて「家族農業を守り、食料自給率の向上を求める署名」を 1000 筆を超えて集めました。

【講演】2019 年 11 月 21 日 滋賀県大津市

滋賀県農業者農政運動組織連盟リーダー研修会において、「国連の家族農業の 10 年の意義と期待される取り組み—持続可能な食と農の実現に向けて—」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【基調報告・学術】2019 年 11 月 21 日 インドネシア・マタラム市

マタラム大学主催の国際セミナー International Seminar of Rural Sociology and Community Development において、“Sustainable Agriculture and Rural Development: Considering SDGs and Food Sovereignty”と題する基調報告を行いました(報告者：FFPJ 常務理事・池上甲一)。

【シンポジウム・学術】2019 年 11 月 24 日 愛知県名古屋市

第 2 回農林水産省東海農政局および東海地域の連携大学共催の「官学合同シンポジウム」において、「持続可能な食をもとめて—国連 SDGs と食・農の関係とは—」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【シンポジウム】2019 年 11 月 29 日～12 月 1 日 東京都練馬区

ニューヨーク、ロンドン、ジャカルタ、ソウル、トロントの 5 都市の代表を招き、都市農業の魅力と可能性を発信する「世界都市農業サミット」が開催され、分科会やシンポジウムのほか、マルシェや収穫体験なども行いました。

【講演・団体会員】2019 年 12 月 1 日 富山県砺波市

富山県食健連(国民の食糧と健康を守る運動富山県連絡会)主催の講演会において、「国連『家族農業の 10 年』と持続可能な社会への移行」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【講演・学術】2019 年 12 月 12 日 愛知県名古屋市

歯科理工学懇話会が主催する講演会において、「国連の家族農業の 10 年からよむ農業の新潮流—持続可能な社会への移行を目指して—」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【研究会・学術】2019 年 12 月 14 日 東京都渋谷区

農業・農協問題研究所が主催する第 96 回研究例会において、「国連の家族農業の 10 年と持続可能な社会への移行」と題して報告しました(報告者：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【研究会・学術】2019 年 12 月 14 日 東京都府中市

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の「アフリカ農業・農村社会史の再構築：在来農業革命の視点から」研究会において、「『国連家族農業の 10 年』とそのローカル化」と題する報告を行いました(報告者：FFPJ 常務理事・池上甲一)。

別添資料

【署名・宣伝・団体会員】2020年1月9日 東京都新宿区

「国民の食糧と健康を守る運動全国連絡会(全国食健連)は、新宿駅西口で新春宣伝を行い、「家族農業を守り、食料自給率向上を求める署名」への協力を呼びかけました。ビラと静岡県産のミカンを配りながら署名を訴え約20分で79筆の署名が集まりました。

【会議・団体会員】2020年1月17日 東京都渋谷区

農民運動全国連合会(農民連)は、全国委員会を開催し、「国連『家族農業の10年』で食料自給率向上、農林漁業の再生、農山漁村をよみがえらせよう」と題した全国委員会決議を確認し、「家族農業の10年」「農民の権利宣言」を力に農政の転換と地域の再生をめざす方針を全国に提起しました。43都道府県から約100名が参加しました。

【シンポジウム・団体会員】2020年1月18日 福島県二本松市

福島県食健連(国民の食糧と健康を守る運動福島県連絡会)は「持続可能な農と食をめざすシンポジウム」を行い、農家、消費者ら約200人が集いました。FAO駐日連絡事務所のポリコ所長が記念講演を行い、村上真平代表がパネリストを務めました。

【フォーラム・団体会員】2020年1月19日 岩手県陸前高田市

家族農業10年国連決議を記念したJCFU全国沿岸漁民連絡協議会主催の連続フォーラム「食と漁の地域未来フォーラム in 陸前高田(第4回)」において「国連家族農業・漁業10年決議と日本の漁業政策」と題して報告(参加者180名)(報告者:FFPJ副代表・二平章)。

【ワークショップ】2020年1月21日 東京都千代田区

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン(FFPJ)は、政府が3月に第5期「食料・農業・農村基本計画」を決定するのを前に、会員団体・個人から意見を募集しました。FFPJとして政府に提言を行うため、寄せられた意見をもとに都内でワークショップを開催しました。

【記者会見・院内集会】2020年1月31日 東京都千代田区

家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン(FFPJ)は、参議院議員会館において記者会見および院内集会を開催しました。政府が3月に第5期「食料・農業・農村基本計画」を決定するのを前に、FFPJとしての提言を政府に提出し、その内容を報道関係者および一般参加者に発表しました。詳しく読む：<https://www.ffpj.org/blog/20200210>

【集会・報告・団体会員】2020年2月1日 千葉県鴨川市

JCFU全国沿岸漁民連絡協議会・千葉県沿岸小型漁船漁業協議会共催「2020年新春のつどい」にて「家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンの紹介」と題して報告。(報告者:FFPJ常務理事・川島卓)。

【講演・団体会員】2020年2月4日 愛知県蒲郡市

農民運動全国連合会の女性部の総会において、「気候変動に最も対応できる農業」(講師:FFPJ代表・村上真平)、「女性の視点から見た国連『家族農業の10年』」と題して講演しました(講師:FFPJ常務理事・関根佳恵)。

【研究会・団体会員】2020年2月6日 宮城県仙台市

生活協同組合あいコープみやぎ・あいコープ主催の農法研究会において「国連『家族農業の10年』と持続可能な農と食」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【講演・団体会員】2020年2月8日 東京都新宿区

農民連青年部第28回総会・特別企画『家族農業を学ぶ』において講演および分科会で講演しました(講師：FAO 日本連絡事務所チャールズ・M・ポリコ所長、FFPJ 常務理事・斎藤博嗣)

【学習会・団体会員】2020年2月9日 大阪府泉佐野市

大阪農民連は、泉佐野市内で「農家と消費者をつなぐ学習・交流のつどい」を開催しました。農民連会員、新日本婦人の会、自治体の農林水産課職員、議員ら20人が参加して、生産緑地法の活用や国連「家族農業の10年」について、大西哲夫先生(農業経済学者)から説明を受けた後意見交換しました。

【講演・個人会員】2020年2月15日 福岡県大牟田市

いちのたんぼの会と広範な国民連合大牟田地区懇談会が主催する講演会において、「国連『家族農業の10年』と持続可能な社会への移行」と題して講演しました(講師：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。

【各政党との意見交換会】2020年2月19日 東京都千代田区

「持続可能な農業を創る会」(座長：蔦谷栄一、農的社会デザイン研究所・代表)が呼びかけた第5期食料・農業・農村基本計画への提言についての各党との意見交換会」に出席し、FFPJの提言について説明しました(説明者：FFPJ 常務理事・池上甲一、出席者：FFPJ 常務理事：吉川利明)

【講演・団体会員】2020年3月3日 岩手県盛岡市

いわて食農ネットは総会と学習講演会を開催し、会員や市民など約60人が参加しました。食と農だけではなく持続的な地域社会をめざす課題として、「食・農・地域は誰が守るか～国連『家族農業の10年』を活かす～」をテーマに講演しました(講師：FFPJ 事務局・岡崎衆史)。

【ツアー】2020年3月21日 三重県伊賀市

東海自治体問題研究所、三重たねネットワーク、岐阜農民連、愛知農民連の方々が、三重県伊賀市の公益社団法人全国愛農会を訪ねました。参加者は、国連「家族農業の10年」とSDGsをはじめ、愛農会の歴史、愛農高校、有機農業等について学び、愛農高校の農場を見学しました(講師：FFPJ 代表・村上真平)。

2. メディア掲載・報道(新聞、新聞・雑誌インタビュー、TV、ラジオ、Web 動画、SNS 等)：国連「家族農業の10年」に関する報道(2019年1月～2020年6月)

- 【新聞】「食農耕論：国連『家族農業の 10 年』始まる 農と食をめぐる政策、新時代へ」『全国農業新聞』2019 年 2 月 8 日付(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【新聞】「社説：家族農業の 10 年／温暖化が促す食と農の変革」『神戸新聞NEXT』2019 年 5 月 6 日付。
- 【インタビュー】時事通信社のオンライン農業雑誌『Agrio』(254 号、2019 年 5 月 8 日付、2-4 ページ)に巻頭インタビュー記事「家族農業の価値 再認識を」が掲載されました(インタビュー対応：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【インタビュー】『全国革新懇ニュース』410 号に「沿岸漁民が日本漁業の主人公」と題したインタビュー記事掲載、その中で家族農業 10 年と漁業の課題について記載(インタビュー対応：FFPJ 副代表・二平章)。
- 【新聞】「家族農業広く発信 研究者や農家ら日本で団体設立」『日本農業新聞』2019 年 6 月 15 日付。
- 【新聞】「共同ウォッチ 『家族農業の 10 年』の意義 SDGs への貢献多く」『日本農業新聞』2019 年 6 月 19 日付(執筆：JCA 副主任研究員・阿高あや氏)。
- 【インタビュー】「国連の『小農と農村で働く人びとに関する権利宣言』について」『日本の進路』321 号、2019 年 6 月、14-17 ページ(インタビュー対応：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【新聞】「論説 家族農業の 10 年 価値と役割 再評価の時」『日本農業新聞』2019 年 7 月 1 日付。
- 【新聞】「ひと意見：家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン代表 村上真平 家族農業が守る環境と食料」『農業共済新聞』2019 年 7 月 3 日付。
- 【新聞】「〈蔦谷栄一の異見私見〉「家族農業の 10 年」で変えていくために」『日本農民新聞社』2019 年 7 月 5 日付(執筆：農的社会デザイン研究所代表・蔦谷栄一氏)。
<https://agripress.co.jp/archives/2189>
- 【新聞】「現場からの農村学教室 国連「家族農業の 10 年」開幕」『日本農業新聞』2019 年 7 月 21 日付(執筆：FFPJ 常務理事・愛知学院大学・関根佳恵)。
- 【インタビュー】「第 11 期生 村上真平さんに聞く 愛農農業論と自然から収奪しない農業」『自然尊重』61 号、2019 年 7 月、6-9 ページ。
- 【新聞】「社説：家族農業 10 年 地域活力取り戻す機に」『京都新聞』2019 年 7 月 28 日付。
<https://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/20190728000053/print>

- 【インタビュー】 『かがり火』188号(2019年8月、19-22ページ)に「平和な海を守ってきた小規模沿岸家族漁業をなぜ潰そうとするのか」と題したインタビュー記事掲載、その中で家族農業10年国連決議と漁業の課題について記載(インタビュー対応：FFPJ副代表・二平章)。
- 【雑誌】 「国連『家族農業の10年』を受けて結成された『家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン』の代表に村上真平会長が就任しました」『月刊愛農』833号、2019年8月、2-5ページ。
- 【新聞】 「家族農林漁業プラットフォーム和歌山(仮称)結成へ」『農民』2019年9月9日付。
- 【新聞】 「国連『家族農業の10年』2年目 農山漁村支えるすべての人を各地のプラットフォームに」(FFPJ村上代表と紀ノ川農協宇田組合長の対談)『農民』2020年1月6日
- 【新聞】 新基本計画を斬る 家族農業支援、自給率向上への政策転換を 『農民』2020年5月11日、18日、25日付。
- 【TV】 2019年11月16日 NHKEテレ放送
TVシンポジウム「いま見直される“家族農業”～農村の未来を考える～」(収録：2019年10月7日、東京都千代田区、イイノホール、ふるさとの食につぼんの食全国実行委員会主催)が放送されました(出演：FFPJ常務理事・関根佳恵)。
<http://www.chiyoda-raft.com/movie/食料フォーラム/>
- 【雑誌】 「家族農林漁業プラットフォーム和歌山が設立されました」『月刊愛農』837号、2019年12月、8-13ページ。
- 【新聞】 「社説：食のグローバル化 市場経済の副作用は誰に」『信濃毎日新聞』2019年12月1日付(国連「家族農業の10年」について取り上げる内容)。
- 【講演録】 いちのたんぼの会編集・発行の講演録『国連の家族農業の10年と持続可能な社会への移行』(講師：FFPJ常務理事・関根佳恵、2020年2月15日、於福岡県大牟田市)1-20ページが作成されました。
- 【雑誌】 「国連『家族農業の10年』と持続可能な社会への移行」『日本の進路』330号、2020年3月、7-8ページ、24ページ(2020年2月15日のFFPJ常務理事・関根佳恵による講演録)。
- 【雑誌】 「家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンが『食料・農業・農村基本計画』への提言を作成し、農林水産省に提出しました」『月刊愛農』840号、2020年3月、18-23ページ(2020年1月31日の記者会見・院内集会の様子と提言の全文が掲載

されました。

3. 雑誌掲載：FFPJ、会員の執筆記事

- 【雑誌】『文化連情報』2019年3月号～2020年3月号(全6回)
『文化連情報』492号、494号、498号、500号、502号、504号に国連「家族農業の10年」や「農民(小農)の権利宣言」、アグロエコロジー等に関する記事が連載されました(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【学会誌】『国際開発研究』2019年6月
『国際開発研究』28巻1号(2019年6月、1-17ページ)にSDGs時代の農業・農村研究―開発客体から発展主体としての農民像へ―と題した論文が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・池上甲一)。
- 【雑誌】『住民と自治』2019年6月
『住民と自治』2019年6月号38-39ページに「改悪漁業法と自治体の役割」と題した記事掲載。その中で「家族農業10年」決議にみる小規模漁業について記載(執筆：FFPJ 副代表・二平章)。
- 【雑誌】「2019年6月14日『家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン』設立」『土と健康』491号、2019年7月、16-18ページ(執筆：FFPJ 常務理事・久保田裕子)。
- 【雑誌】『月刊NOSAI』 2019年7月
『月刊NOSAI』71巻7号(2019年7月、1ページ)に「時論：誕生！家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン」と題した記事が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【雑誌】「家族農林漁業プラットフォーム・ジャパンの代表を受けて」『月刊愛農』833号、2019年8月、6-9ページ(執筆：FFPJ 代表・村上真平)。
- 【学会誌】『北日本漁業』2019年8月
北日本漁業経済学会誌『北日本漁業』47号、(2019年8月、1-5ページ)に「学会創立50年と北日本漁業の課題」と題した記事掲載、その中で家族農業10年国連決議にみる家族農業・漁業重視の動きの項記載。(執筆：FFPJ 副代表・二平章)。
- 【雑誌】『協同組合研究誌 季刊にじ』 2019年9月
『協同組合研究誌 季刊にじ』669号(2019年9月、85-92ページ)に「国連『家族農業の10年』と持続可能な社会への移行―協同組合への期待―」と題した記事が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【雑誌】『農業と経済』 2019年9月
『農業と経済』85巻8号(2019年9月、54-68ページ)に「農林水産業からSDGsをどう読むか」が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・池上甲一)。

- 【雑誌】『海外情報誌 ARDEC』 2019年12月
『海外情報誌 ARDEC』61号(2019年12月、21-25ページ)に「『国連 家族農業の10年』が問いかけるもの—『持続可能な社会』への移行—」と題した記事が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【雑誌】『Agrio』 2019年12月から連載中
『Agrio』(286号、2019年12月)からFAO駐日連絡事務所長のポリコ所長、およびFFPJ常務理事が不定期で寄稿しています。
- 【雑誌】『食べもの通信』 2020年1月
『食べもの通信』(587号、2020年1月、18-19ページ)に「持続可能な社会の基礎は家族が営む農林漁業」と題した記事が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【雑誌】『地上』 2020年1月
『地上』(74巻1号、2020年1月、28ページ)に「海外で『未来の農業』と位置付けられるアグロエコロジー—歴史的背景から探る—」と題した記事が掲載されました(執筆：FFPJ 常務理事・関根佳恵)。
- 【雑誌】『農業と経済』2020年3月
『農業と経済』2020年3月臨時増刊号(141-151ページ)に「新漁業法で強まる海の企業支配」と題した記事掲載。その中で「家族農漁業重視に転換した国連」の項を記載。(執筆：FFPJ 副代表・二平章)。
- 【雑誌】協同組合研究誌『にじ』2020年3月
協同組合研究誌『にじ』(2020年3月、80-86ページ)に「小規模家族漁業をめぐる国際的動向と日本の漁業施策」と題した記事掲載。その中で小規模漁業保護に関する国連文書を紹介。(執筆：FFPJ 副代表・二平章)。
- 【雑誌】全国有機農法連絡会ニュース『土の声』2020年3月
全国有機農法連絡会ニュース『土の声』168号(2020年3月、4ページ)に「家族漁業・地域漁業の明るい未来をめざして」と題した記事掲載。(執筆：FFPJ 副代表・二平章)。